

失語症友の会『第17回あいおの会』の報告

失語症とは・・・

失語症とは、脳卒中や事故の後遺症によって言葉を理解したり、自分の気持ちを言葉で表現したりする事が難しくなる症状のことをいいます。

第17回 あいおの会 開催

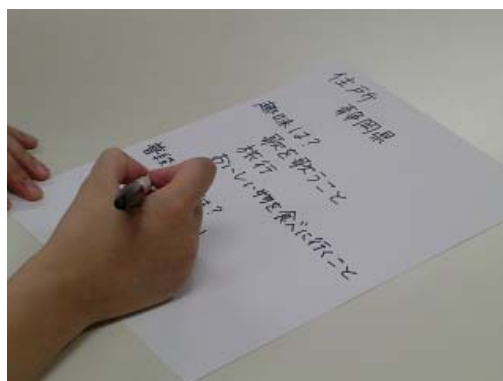
『あいおの会』は、失語症の方のコミュニケーション機会を作る場として、平成18年7月から始まりました。会には、失語症の方とそのご家族、国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士も参加しています。2ヶ月に1回（年に6回）行っており、先日9月6日（日）に『第17回 あいおの会』を開催しました。今回は、失語症患者様8名と言語聴覚士4名、学生ボランティア3名が参加しました。

はじめに自己紹介を行いました。5月の会で各自作成した名前カード持って、それぞれどんな夏を過ごしたかなど、近況を報告しました。「箱根の催し物に参加した」、「子どもたちが帰ってきた」など、それぞれの夏を過ごしたようでした。



今回のゲームでは・・・

『他己紹介』を行いました。となり同士2人1組になって、相手の趣味や出身地などを聞き、みなさんの前で、相手について紹介をしました。いつも行うゲームとは違い、言葉で相手に質問をしなければならなかったため、いつも行っているゲームに比べると難しい内容でした。みなさん、いつも以上に体力を使ったようでした。



お茶休憩をし、最後に、♪「みかんの花咲く丘」と「夏の思い出」を歌いました♪

次回の『あいおの会』開催予定

日時 平成21年11月8日(日) 午後1時～

場所 国際医療福祉大学熱海病院 2階リハビリテーション室

興味のある方、言葉の障害がありコミュニケーションに困っている方は、是非ご連絡ください。連絡先(代)0557-81-9171 リハビリテーション室(言語聴覚室)